

# ぶどうの木



第259号 2025年 2月号

発行人 牧師 広田叔弘  
企画編集 広報委員会  
www.church.ne.jp/umegaoka/  
2025年 1月26日発行

〒155-0033  
東京都世田谷区代田 3-37-7  
TEL : 03-3414-5772  
FAX : 03-3414-5778



## 『教会役員とは』

牧師 広田叔弘

奉仕者たちも品位のある人でなければなりません。二枚舌を使わず、大酒を飲まず、恥ずべき利益をむさぼらず、清い良心の中に信仰の秘められた真理を持っている人でなければなりません。

テモテへの手紙 一 3章と9節

3月16日(日)に教会定期総会を予定しています。この中で役員選挙が行われます。今年から半数改選となるので、5人の役員を選出することになります。

冒頭に掲げたテモテへの手紙一は、テモテへの手紙二、テトスへの手紙と共に「牧会書簡」と呼ばれています。教会生活のあり方や、伝道者をはじめとする教会に仕える者たちが、どのような人物でなければならぬかを教えるものです。

述べられている「奉仕者」を今日の役員と考えることが出来ます。具体的な要件の最初に「二枚舌を使わず」とあります。これは意味の深いことです。相手によって言葉と態度を変えます。当たり前のように嘘をつくことでしょうか。このような二枚舌とまではいかなくても、心に思っていることと口で言うことが違っていたらどうでしょう。やはりその人

を信頼することは出来なくなります。もし役員がこのような人物であつたらどうでしょう。教会自体が信頼できないものになります。

教会は信仰と信頼で築かれています。嘘、偽り、我がまま、傲慢、思いやりのなさ、このようなことで傷つき、壊れていきます。

テモテ書で述べられている事柄は人間的な態度や生き方です。実務的な能力については触れていません。教会は信仰共同体です。キリストを信じる者たちの霊的な集まりです。この集団に仕える役員は霊的であることが求められているのです。霊的であることの内容は、イエス・キリストに対する明確な信仰と、教会に対する誠実な愛です。

世の中には、笑顔の下に本心を隠して生きることがあるでしょう。しかし教会はそうではありません。主を信じ教会を愛するとき、言葉が変わります。その人の口から隣人を生かす新しい言葉が生まれます。この言葉が集まるとき教会は力を持ちます。キリストを指し示して共に歩む、救いの力を持つのです。

役員だけではありません。実務は二の次と云うのでもない。まず、主に対する信仰と、教会への愛を中心に据えたいのです。教会は、牧師、役員、教会員、皆で担っていくものです。私たち一人一人が、キリストに結ばれた霊的共同体の造り手であり、担い手なのです。